

令和4年度 いのちの授業 事例集（小学校）【朝会】

掲載数

8

地区	学年	教科等	テーマ	内容	参考事項（講師・教材等）
1 川崎市	小複合	朝会	命の誕生 命のつながり	私たちの命は、総じて母親の胎内で生まれ、やがて生まれてくる。胎児の成長を写真で見ることを通して、命の誕生はかけがえのないものであるということに気付いた。そして、自分だけでなく家族や周りの友達の命もかけがえのないものであることから、「命は自分だけのものではなく、周りの人たちにとっても大切なものである」と考えた。	胎児の写真
2 川崎市	小複合	朝会	震災の話	東日本大震災の大津波が東北地方沿岸部に甚大な被害を及ぼした中、岩手県釜石市内の児童・生徒の多くが無事だった。その時、どのような行動で命を守ったのか動画を通して紹介した。震災当時をよく知らない子がほとんどなので、実際の出来事だと知って驚いていた。途中、動画を止めながら補足説明を行い、自分だったらどうするか考えさせた。 真剣に防災訓練することや、自分で判断できるようにすることの大切さに気づいた子がたくさんいた。	授業者は特別支援コーディネーター（令和3年度までの名称、令和3年度3月に実施） 実際の写真や動画、スライドを用いて授業を行った。
3 川崎市	小複合	朝会	子どもの権利	全校のテレビ朝会で、「人権」とは何か、子どもの権利にはどのようなものがあるかについての講話をした。人権とは、人が必ず持っている権利であり、自分の権利は守られなければならないものであると同時に、他人の権利も守られなければならないものであることについて伝えた。自分を含めた子どもたちが安心して生活するために、人権は大切であること、友達の人権も守っていききたいことを振り返っていた。	・川崎市こどもの権利 条例リーフレット ・人権教育担当
4 相模原市	小5	朝会	生きているだけで◎	支援級の児童への理解 「みんな一人ひとりが、大切な存在です。あなたも、あなたの友だちも、ひかり級の子も、みんな大切な子どもです。もう一つは、みんなの顔や身長などがそれぞれ違うように好きなことや得意なこと苦手なことなども、一人ひとり違っているし、成長する速さもそれぞれ違うということです。」に関する講話の時、命の大切さを含めて話をした。	講師は、支援級担任が行った。本校における支援級児童をとりまく周囲の子ども達の理解の現状を踏まえて、インクルーシブ教育の理念に基づいて発案した。
5 横須賀市	小複合	朝会	人権とは何か	人権の説明→自分の好きなことを考える⇒自分を大切にすること⇒友達の好きなことを知る→互いに認め合うことで良い関係が生まれる（友達も大切にすること）→実生活の中に自分や友達を大切にしようとしている場面があることを知る。	

6	横須賀市	小複合	朝会	相手と自分の意見の違いを受け入れる	<p>人権＝自分らしさについて考える。</p> <p>運動会のスローガン決めの場面や、練習での場面をとりあげ、自分らしさとは何かを考える。</p> <p>自分らしさだけを考え、相手に対しての配慮を考えないと、自分勝手になってしまうことがあることを理解する。</p> <p>自分らしさだけでなく、相手のことを思い図り、相手を受け入れるようにすることで、互いの人権が尊重されることを学ぶ。</p>	
7	県西	小複合	朝会	「大切な人はどれですか」	<p>今年は戦後77年目の節目の年である。夏休み明けの朝会で、広島平和記念式典での「平和への誓い」を紹介し、「違いを認め、相手を受け入れる」ことについて具体的に考える機会とした。</p> <p>自分にとって好きな人、考え方の似ている人だけでなく、自分と異なる考えをもっている人をも大切にすることが大事であるというメッセージを伝えた。</p> <p>朝会后には「戦争をしないためにどうしたらいいのか考えた」「違いを認める大切さがわかった」等の児童の感想が寄せられた。</p>	<p>【教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広島平和記念式典子ども代表による「平和への誓い」（広島市教委許諾済）</li> <li>・絵本「みえるとかみえないとか」（著：ヨシタケシンスケ）</li> </ul> <p>【複合学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年対象</li> </ul>
8	県西	小複合	朝会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・命の大切さ</li> <li>・一人ひとりがかけがえのない存在</li> <li>・認め合い</li> </ul>	<p>校内の児童指導の状況から、夏休み前の朝会で、あるエピソードを話した。エピソードは、ある児童が、同級生の「からかい」についての作文を読み、胸があつくなるのを感じたものであった。作文の内容は、「身体にハンディはあるが、母親が命がけで産んでくれたので、ひやかされても何でもないこと」や「これからも自分を大切にしていこうこと」等であった。朝会後の全児童の感想には、命について考え、自分もまわりの友だちもそれぞれが大切な存在であり、互いに認め合うことが大切である等が記されていた。</p>	<p>対象は全校児童</p> <p>朝会の話は校長</p> <p>エピソードは、パワーポイントで文章を画面に映しながら話をした。</p>